



支援部ネット

令和6年度
3月13日
すながわ高等支援学校
研究支援部

初めに

この支援部ネットでは、支援教育に関する情報や校内での取り組みなどをお伝えしていきます。今回は、1年生で4週に渡り取り組んだ人権学習～多様性を認め合う～についてご紹介します。ぜひご一読ください。

学習の流れ

〈1週め〉

これまで学習してきた人権に関する基礎的な内容を再確認しつつ、「人権感覚」や「多様性」について振り返り、性のあり方も多様であることを学習しました。

〈2週め〉

元養護教諭で今は色々な学校で講演をされている井上鈴佳さんに昨年度、一昨年度に引き続きご来校いただき、お話を聞かせていただきました。

1時間めの最初に井上さんのパートナーである「そらくん」が出てくる本当に起きたお話の紙芝居を見せていただきました。そしてLGBTってどんな人?ということで、井上さんご自身がレズビアンであると気づくまでのお話、井上さんの友だち紹介をしていただきました。

2時間めは、今そらくんの1番の大きな困りごとはトイレ問題ということで、グループワークでどうしたらそらくんが泣かずに外でトイレに行けるかについて考えました。

最後に、よかったら今日からLGBTQ+の人たちの味方、ALLY(アライ)になってくれませんか?というお話で締めくられ、ALLYのシールをいただきました。

なお、LGBTQ+については、過去2年間同様の学習をしています。詳しい学習内容は昨年度の支援部ネットでご紹介していますので、以下のリンクからご覧ください。

大阪府立すながわ高等支援学校ホームページ

カテゴリ「支援部ネット」

2024年02月08日「令和5年度 支援部ネット特別号②」を掲載しました。

今年度は、生徒たちの感想および3週め、4週めの事後学習で取り組んだまとめについてご紹介します。



井上鈴佳さんの講演に対する生徒たちの感想（一部）

- 色んな人がいて好きになる人もそれぞれだということが知れて良かったです。
- 生活するのも大変だと思った。
- LGBTの味方のアライというのがあることがすごく素敵だと思いました。
- 最後に「おかま」などの言葉を言っちゃいけないと言っていて、小学生のときに言ったことを思い出して、次から言わないようにしようと思いました。
- 人によって性って違うなと感じました。僕も性でいじめられているところを見たら止めたいと思います。
- 性別がこうだからなどに引っ張られ過ぎずにその人にある性の理解が必要なんだなと思いました。
- みんながLGBTのことを理解し、それが分かり合える社会になればいいと思います。
- 人口の約9.7%、10人に1人の割合でLGBTの人がいるというのがびっくりして、もしかしたら周りにもいるのかな？と思いました。とても勉強になりました。
- 最初、この人権学習をする前はオカマとか言ってたけど、この学習を通して相手のことをよく考えて発言することがよく分かりました。
- 今回の話を聞いてLGBTのことを知っておく方が相手の人も安心して話すことができるから自分も知っておく方がいいなと思いました。
- 今回の井上さんのお話を聞いて、考えてみて、LGBTの人の近くに事情を知っている人がいることが大切ということが分かりました。



事後学習（1年生の教室前にその他のグループのまとめも貼り出しています。ぜひご覧ください。）

L レズビアン	心の性は女性、恋愛対象も女性
G ゲイ	心の性は男性、恋愛対象も男性
B バセクシュアル	男性と女性の両性が恋愛対象
T トランスジェンダー	性別も、また身体の性に違和感がある
Q クエスチョニング	自分の心の性がよくわからなかったり、どの性別が好きなのかわからない状態
+ プラス	その他多数

～あなたたち鉄砲～
性について

ちがいは個性!
ちがいをなくそうとするのではなく「**自覚し認め合う**」ことが大切!!
自分が変わり、自分達が変わる

同調圧力
集団において、少数意見を持つ人に対して、周囲の多くの人と同じように考え、行動するよう暗黙のうちに**強制**すること。
「ちがいは個性として認める。」
同調圧力はやめよう!

性のさまざまなとらえ方

心	好きになる相手
自分の性別をどう認識しているか	恋愛対象の人の性
身体	表現
性別も、また身体の性	服装、趣味など


LGBTQについて知って言葉の発言の気をつけてちがいを個性として認め合おうと思いました。

LGBTQにガンダムになり、自分の見本は自分でつけていこうと思いました。

感想
性の多様性について勉強したことで新しい知識が身につきました。さらに勉強したいと思います。
性に関する言葉を発言する時は気をつける。

LGBTQ+の方々のトイレ問題について

トイレの悩みや困り事

- ストレス問題やトイレ差別が起こる 
- 約65%のLGBTQ+の人々がトイレ利用でストレスを感じている。
- 多くの公共の場所や職場、学校などでは、男女用トイレが分かれていることが多くT(トランスジェンダーの方)がどちらのトイレを利用をする。

社会ができる解決策

- 男女兼用トイレなどを増やす
- 社会の理解を深める



オールジェンダートイレの表示マーク (誰でも使用できるトイレ)

その人ができる解決策


- 携帯用トイレ
- トイレを使う時に注意事項を書く
- 友達と一緒に一緒に行く
- 見張りしてトイレを使う
- 人の少ないところに行く
- 人にトイレを使っていいのかを聞きに行く



感想

男性用のトイレと女性用のトイレなどで差別問題を起こさないように解決策をみんなと一緒に話し合せてアイデアをだすことが必ずかしら、ただがんばることができました。

小生のあり方、とらえ方の一部

- (心)の小生** 自分自身の小生別をどう認識しているか
- (身体)の性** 生まれもった身体の小生 
- (好き)にな小生** 恋愛や小生愛の女対象となる人の小生
- 小生別(表現)** 服装や性格、趣味や振る舞い方など

特徴・特性は人それぞれ、性の形もいろいろ

- L レズビアン 心の性は女性、恋愛対象も女性
- G ゲイ 心の性は男性、恋愛対象も男性
- B バイセクシュアル 男性・女性の両性が恋愛対象
- T トランスジェンダー 生まれもった身体性の性に違和感がある
- Q クエスチョニング 自分の心の性や性になったときの性別がわからない
- + プラス その他多数

みんなの感想!!

絶対に小生別をおおっぱかにしたほうがいいように思います。言えない言葉や小生別の人に言えない言葉を出して、この人は言えないよというように思いました。
 小生別(表現)に合わせた服装や性格、趣味や振る舞い方など

私はLGBTQ+の方の中にそとして欲しいと思う人もいるかもしれないなと思ったので温かく見守ってあげたい。
 たれかが好き勝手言うのではなく、みんなが支え合うことが大事だと思います。

こんな言葉を聞いた事がありませんか?

オマ・ズ・ホ
 これらの言葉でいじめられた。人を傷つける言葉。絶対に言わない。
 「ちがいは」まちがいじゃない。「ちがいは」個性、その人らしさ。「ちがいは」をなくそうとするのはなく。「ちがいは」ことを自覚することが大事。相手を知り、「ちがいは」を認め合う。

そらさんのトイレ問題

好トイレに入ると、男性と間違われる 😞
 (トイソウカをさる怒り)

対処法

- 空いてい木は、多目的トイレを使う(庭にドの前で待てて待つ)
- 友達と話しながトイレに入る
- 友達と一緒にトイレから出てまた話しながトイレから出る

ALLY(アライ) = 味方

自分がLGBTQ+と教えてくれた時に味方になる。信頼して話してくれた事に感謝する。困っているLGBTQ+の人の相談を聞いて寄り添ってあげる。味方になる。

~ALLY(アライ)について~

「アライ意味」

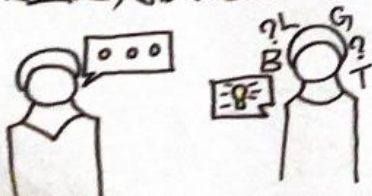
- ・英語で「同盟、支援、仲間、など意味がある」
- ・LGBTQ+の人たちを支援したいと考えて支援する人

~アライの役割
性的マイリティー当事者に安心感を与えられる

性的マイリティー当事者の困難さを伝えられる

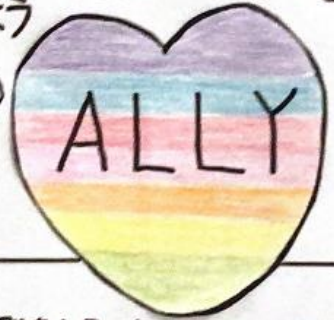


誤解の解消や差別の是正に貢献できる



アライって何をしたらいいの?

◎LGBTQ+のことを知る
自分が気づかないところで、無意識な発言や行動で傷つけてしまったことがあるかも。まずは研修や本、インターネットで公開されている記事等を活用し情報を得て、LGBTQ+について知ることから始めよう



● 僕もアライになると思いました。

● 差別をしない事を意識して生活したいと思いました。

● 発言や行動に気を付けたいと思います。

● 差別を少なくしようと思いました。

人権学習 多様性を認め合う

多様性とは

組織や集団において、年齢など様々な属性やバックグラウンドを持つ人々が共に存在し、それぞれ個性を尊重し合いながら活動している事

性的マイリティー

L	レズビアン
G	ゲイ
B	バイセクシュアル
T	トランスジェンダー
Q	クエスチョン
+	プラス

これらの頭文字をとったものを
← LGBTQ+ といいます。

相手を知り合いを認め合う



一人ひとり異なる特徴・特性を持つ

感想

・人の自由や幸福も追求する権利があるから自分らしく生きていこうと思いました。
・互いに理解しながらコミュニケーションを取る事が大切だよ、と思いました